

科目名	美容デザイン論Ⅳ		Subject	Theory of Beauty Design Ⅳ				
サブタイトル	理論的観点から技術の課題を発見し分析を行う							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
2 年	前期	選択						
授業形態	単位	時間						
講義	1 単位	30 時間	◎		○			
ゲストスピーカー招聘回		なし						
教員名	ヘアチーム			メールアドレス	hair@・・・			
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】							
実践的教育	○ 美容師としての経験をもとに美容用具の取り扱いや技術の方法について具体例を盛り込んだ内容としている。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要								
本科目では美容デザイン論Ⅰ・Ⅲで学んだ基礎理論を応用し、国家試験課題の第二課題であるワインディングとオールウェーブの技術課題の分析を行なっていく。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	あり	-	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP1	美容理論を美容デザイン実習Ⅵと関係づけ、課題分析へ向けて知識を応用することができる。							
DP3	様々な美容デザインに関して得た知識を基に、人への実践を想定して各技術向上に向けた課題解決ができる。							
教科書	美容技術理論1・2、公益社団法人日本理容美容教育センター、2026 年 教員作成資料及び演習問題プリント							
参考文献	なし							
各自準備教材	B5 大学ノート（リングノート不可）							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
80%	-	10%	-	-	-	-	10%	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
定期試験の要点について、classroom 内、もしくは美容デザイン論Ⅴにて解説を行います。								
履修上の条件・注意								
1 年次後期開講科目「美容デザイン論Ⅲ」および「美容デザイン実習Ⅲ」を単位修得した者のみ履修可能 美容デザイン実習Ⅳの内容と相互に理解をしながら受講する必要があります。遅刻・欠席は知識を習得する上で支障が出るため原則認めません。 資料の配布、授業連絡は classroom を通じて行います。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション ヘアセッティング ウェーブ理論とヘアカーリング理論を学ぶ	ウェーブ理論とカール理論を振り返り、説明できる。	〈復習〉ヘアセッティングについて演習問題を繰り返し解く(45 分) 〈予習〉スキップウェーブについて教科書の範囲を読む(15 分)	60 分
第 2 回	国家試験実技第二課題① ウェーブ構成を学ぶ	スキップウェーブと他のウェーブの違いを列挙することができる。国家試験課題に関係づけて説明できる。	〈復習〉スキップウェーブをノートにまとめて以前のノートまとめたウェーブと比較して考える、演習問題を解く(45 分) 〈予習〉カールの種類を確認する予習(15 分)	60 分
第 3 回	国家試験実技第二課題② カールの種類を学ぶ	国家試験実技第二課題に用いられているカールの種類を列挙することができる。それぞれのカールの違いを比較できる。	〈復習〉カールの種類をノートにまとめる、演習問題を解く(45 分) 〈予習〉まとめノートで以前のビニングについて再確認(15 分)	60 分
第 4 回	国家試験実技第二課題③ ビニングの種類を学ぶ	国家試験実技第二課題に用いられているビニングの違いを技術と関係づけて説明できる。	〈復習〉ビニングについての説明をノートにまとめる、演習問題を繰り返し解く	60 分
第 5 回	国家試験実技第二課題④ カールとウェーブの構成を学ぶ	カールとウェーブの関係を理解し、技術と関係づけることができる。	〈復習〉カールとフィンガーウェーブの構成と特徴をノートにまとめる、演習問題を繰り返し解く	60 分
第 6 回	国家試験実技第二課題⑤ 技術ポイントへの応用	ワインディング課題とオールウェーブ課題の注意点を具体的に述べるができる。	〈復習〉国家試験課題の作成図を描き、注意点を該当箇所に記入する(45 分) 〈予習〉美容技術理論 2) 8 章：エスティック概論とマッサージ理論の教科書の範囲を読む(15 分)	60 分
第 7 回	8 章：エスティック① エスティック概論・マッサージ理論を学ぶ	エスティック概論・マッサージ理論について述べるができる。	美容技術理論 2) 〈復習〉8 章：エスティック概論とマッサージ理論をノートにまとめる(45 分) 〈予習〉(15 分) 次回の 8 章マッサージ技法の教科書の範囲を読む	60 分
第 8 回	8 章：エスティック② マッサージの技法を学ぶ	マッサージの各技法について列挙することができる。	美容技術理論 2) 〈復習〉8 章：エスティックのマッサージ技法をノートにまとめる(45 分) 〈予習〉次回の 11 章日本髪教科書の範囲を読む(15 分)	60 分
第 9 回	11 章：日本髪① 日本髪の構成と形の違いを学ぶ	日本髪の構成や髪型の違いを理解し新日本髪の結い上げ技術に関係づけることができる。	美容技術理論 2) 〈復習〉11 章日本髪の構成と形の違いをノートにまとめる(45 分) 〈予習〉次回の日本髪の結髪道具や装飾品について教科書の範囲を読む(15 分)	60 分
第 10 回	11 章：日本髪② 日本髪の結髪道具や装飾品を学ぶ	日本髪の結髪道具や装飾品について列挙することができる。	美容技術理論 2) 〈復習〉11 章日本髪の結髪道具や装飾品をノートにまとめる(45 分) 〈予習〉シャンプーについてまとめた以前のノートを見る(15 分)	60 分
第 11 回	シャンプーについて	シャンプー剤の種類やリンス・コンディショナー・トリートメント、スカルプトリートメントを毛髪と頭皮に合わせて選択できる。	〈復習〉状態に合わせたシャンプー剤とリンス・コンディショナー・トリートメントを分類する(30 分) 〈予習〉カットティングについてまとめた以前のノートを見る(30 分)	60 分
第 12 回	ヘアカットティングについて	ベーシックなカット技法とシザーやレザーによるカット技法を使用用途によって選択できる。	〈復習〉指定した画像のカット技法をピックアップする(30 分) 〈予習〉パーマメントウェーブについてまとめた以前のノートを見る(30 分)	60 分
第 13 回	パーマメントウェーブについて	パーマメントウェーブの仕組みを具体的に述べるができる。技術のプロセスの要点を説明できる。	〈復習〉パーマの仕組みとプロセスを踏まえてワインディングの方法を選ぶ(30 分) 〈予習〉カラーリングについてまとめた以前のノートを見る(30 分)	60 分
第 14 回	ヘアカラーリングについて	染毛剤使用時の注意事項を具体的に述べるができる。酸化染毛剤のプロセスを適切に選択できる。	〈復習〉指定画像からカラーリングのプロセスを考える(30 分)美容技術理論 1 と 2 の全範囲の演習問題を繰り返し解く(30 分)	60 分
第 15 回	まとめと解説	今までの知識を国家試験筆記過去問題へ応用することができる。人に合わせた美しさをデザインするための課題分析をすることができる。	美容技術理論 1 と 2 の全範囲の中で特に苦手な箇所をこれまでにまとめたノートや資料を活用し分析する	60 分